

令和3年度公共事業再評価調書

担当部/課名	都市整備部 道路建設課
--------	-------------

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着手(5年) <input type="radio"/> 長期間継続(5年) <input checked="" type="radio"/> 再評価後(5年) <input type="radio"/> その他()
---------	--

I 事業概要

事業種別	街路整備事業	事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国補助 <input type="radio"/> 県補助 <input type="radio"/> 市単独																	
事業名	3・2・2号内環状線(浜田)街路整備事業	事業箇所	青森市大字浜田字玉川 ~ 大字浜田字豊田																	
採択年度	平成 15 年度 (用地着手 平成 17 年度 / 工事着手 平成 28 年度)																			
終了予定年度	令和 5 年度																			
事業目的	<p>・3・2・2号内環状線は、青森都市計画マスタープランにおいて、青森市の交通体系の骨格となる道路網2高速2環状5放射道路に位置付けられている主要幹線道路である。</p> <p>・また、同路線は3・2・2号外環状線(一般国道7号青森環状道路)桑原地区から市街地内を環状し、フェリー埠頭に至る延長12,080mの都市の骨格を形成する主要幹線道路である。当該路線のうち、7,290mが整備済みで、整備率は約60%となっている。</p> <p>・当該事業は、未整備区間4,790mのうち、3・5・4号堤町通り浜田線(主要地方道青森浪岡線)から3・3・6号十和田通り線(一般国道103号線)浜田小学校付近までの延長約620mの整備を実施するものであり、交通の円滑化及び地区内等の歩行者・自転車交通の安全を確保しようとするものである。</p>																			
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>再評価時(2回目)</th> <th>再評価時(3回目)</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 計画延長</td> <td>620.0 m</td> <td>620.0 m</td> <td>0.0 m</td> </tr> <tr> <td>② 計画幅員</td> <td>30.0 m</td> <td>30.0 m</td> <td>0.0 m</td> </tr> <tr> <td>③ 事業費</td> <td>3,260百万円</td> <td>3,750百万円</td> <td>490百万円</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	再評価時(2回目)	再評価時(3回目)	増 減	① 計画延長	620.0 m	620.0 m	0.0 m	② 計画幅員	30.0 m	30.0 m	0.0 m	③ 事業費	3,260百万円	3,750百万円	490百万円
	区 分	再評価時(2回目)	再評価時(3回目)	増 減																
① 計画延長	620.0 m	620.0 m	0.0 m																	
② 計画幅員	30.0 m	30.0 m	0.0 m																	
③ 事業費	3,260百万円	3,750百万円	490百万円																	
<p>※事業量や総事業費の増減に係る説明等を記入。</p> <p>(・平成28年度に当該路線と県道3・5・4堤町通り浜田線の交差点修正設計により、用地補償費及び工事費が増額。)</p>																				
事業費	(単位:百万円)																			
		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	小計	R4年度~	合計												
○事業費	1,544	40	35	39	1,658 (a)	2,092	3,750 (e)													
うち①用地費	1,351	25	0	13	1,389 (b)	1,252	2,641 (f)													
②工事費	57	12	33	23	125 (c)	802	927 (g)													
③その他	136	3	2	3	144 (d)	38	182 (h)													

II 評価指標及び項目別評価

1 事業の進捗状況

事業の進捗状況	計画全体に対する進捗	
	○事業費割合	44.2 % [(a)/(e)]
	うち①用地費	52.6 % [(b)/(f)]
	②工事費	13.5 % [(c)/(g)]
③その他	79.1 % [(d)/(h)]	
説明	<p>・本路線は、平成15年度に事業着手し、平成17年度から用地買収を進めており、全体面積の51.2%を用地取得している。</p> <p>・平成28年度から一部工事にも着手している。</p>	
問題点 解決見込み	・なし	
事業効果 発現状況	・部分供用あり。(一部歩道 観光通り ~ 浜田小学校 L=100m)	

2 社会経済情勢の変化

必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線は、本市の骨格を形成する主要幹線道路であり、交通のネットワーク化を図るため、早期に整備することが必要である。 ・周辺には、ショッピングセンター等商業施設や学校等教育施設があり、歩行者・自転車・自動車等の往来が多いにもかかわらず、当該区間が未整備であるために、狭隘な道路を通行せざるを得ない状況となっていることから、交通の円滑化及び歩行者・自転車交通の安全確保のため整備するものである。
適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線と接続しネットワークを形成する3・5・4号堤町通り浜田線(主要地方道青森浪岡線)が平成19年8月に供用開始していることや、平成26年3月の青い森鉄道筒井駅開業に伴い、県において整備が進められている3・4・3号蛸貝八重田線など周辺道路の整備効果を高めるため早期の完成が望まれている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線が完成することにより3・5・4号堤町通り浜田線や3・4・3号蛸貝八重田線などの青い森鉄道筒井駅周辺道路とのネットワークが形成され、奥野・桜川地区と浜田地区の相互において交通の円滑化が図られ、移動時間の短縮が見込まれる。

3 費用対効果の分析

費用便益比	区分	主な項目		
	費用項目(C)	① 事業費	4,246	百万円
② 維持管理費		9	百万円	
③			百万円	
④			百万円	
⑤			百万円	
総費用		4,255	百万円	
便益項目(B)		① 走行時間短縮便益	3,261	百万円
		② 走行経費減少便益	162	百万円
		③ 交通事故減少便益	57	百万円
		④		百万円
	⑤		百万円	
	総便益	3,480	百万円	
費用便益比(B/C)	費用便益比(B/C)	0.818		
	補正費用便益比(B/C* α)	1.148		

※地域補正係数(α): 1.404(青森地方生活圏)
 ※費用対効果分析の根拠等
 (「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)」(平成21年6月、国土交通省)
 「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月、国土交通省道路局、同都市・地域整備局)
 「公共事業事後評価制度の導入等に関する提言」(平成22年4月、青森県公共事業評価システム検討委員会))

4 コスト削減や環境配慮などへの検討

コスト削減等	<ul style="list-style-type: none"> ・路盤材、舗装材に再生材を使用し、環境負荷の低減とコスト削減を図る。
--------	--

III 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 計画変更して実施 <input type="radio"/> 事業中止 <input type="radio"/> 事業休止
評価理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線は、本市の都市計画マスタープランに位置づけている主要幹線道路であり、3・5・4号堤町通り浜田線(主要道路地方道青森浪岡線)と交通ネットワークを構築し、周辺地区の交通環境の改善を図ることが必要であり、費用対効果を踏まえ継続実施すべきと考える。